



研究活動の経過（800字以内）（打ち合わせ、報告、招待講演、調査旅行などの月日、テーマ、報告者、目的地などを記入してください。）

2020年4月企画作業開始もコロナ禍のために見通しが立たず、以降、学内関係各教員と打ち合わせ。7月大学内にのみ作品を設置し無観客で展覧会を開催することに変更する。展覧会を撮影し、動画を作成し、公開することで展覧会とし記録することにする。7月作品プラン募集開始。8月夏期休暇。9月15日作品プラン締め切り。作品計画実施案作成。10月作品制作 下旬展示作業・公開へむけて設置作業。Webページの整備。更新作業。10月末作品現場での展示作業開始。10月下旬～11月上旬作品公開期間。動画の撮影も行う。展覧会終了後、作品撤去作業。12月下旬、動画公開。2021年3月報告作成。

研究成果の概要（1200字程度）（どのような方法で調査、研究を行ない、どのような新知見が得られたか。またそれを今後どのように活かすことができるか、など）

これまで4年間、麻生区黒川地域でアートプロジェクトを行い、地域の方々にも理解を得られ好評を博しました。その手法を生かし、前回は大学のある岡上地域に場所を移し開催し、緩やかに地域の方々との連携もできましたが、今回は、コロナ禍のため、様々な制限もあり、地域の方々との連携は、ほとんどできませんでした。

開催中止の選択もあったとは思いますが、大学のみで作品を設置し、無観客で行い、動画を作成し公開する展覧会に切り替えたことで、学生への参加を促すことはできました。その結果、7作品の応募があり、作品はそれぞれ力作でした。中には1年生の応募もあり、多くの1年生は、1年間大学への登校もできませんでしたが、このプロジェクトに参加したことで、その1年生は大学を十分に活用し、素晴らしい作品を作ることができたことは、大変良かったと考えられ、大きな力になったと思われています。

しかし、作品を作ったからには、地域の方々や、様々な多くの人に見ていただき、交流することは重要ですが、コロナ禍のために、今回出来なかったことは、とても残念でした。一方、展覧会の動画を作成したことにより、制作者の声の記録を残すことができました。現在動画の視聴回数は、2021年5月1日現在で、199回です。

動画のアドレスはこちらです。<https://www.youtube.com/watch?v=KnpPcE19zvU>

次回も、まだコロナは収まっておらず、zoomを用いた交流や、その他を考えていくことが求められるであろう。

成果の発表文献（標題、著者名、雑誌名、巻号頁、発行年等）

（発行年は厳密に2020年4月～2021年3月に刊行されたものだけに限らず若干前後のものも含めてください）

サトヤマアートサンポ 2020、和光大学表現学部芸術学科、動画6分、2020年12月22日公開

URL=<https://www.youtube.com/watch?v=KnpPcE19zvU>

※ 用紙が足りない場合は別紙を添付してください。

※ できるだけこのデータに入力いただき、Eメールでご提出ください。

※ 提出期限：2021年4月30日（金） 提出先=企画室企画係(岡本) [kikaku@wako.ac.jp](mailto:kikaku@wako.ac.jp)(企画係)